グラフの種類

1. 円グラフ
全体に占める各要素の割合を示す場合に用います。例えば年齢構成で20歳未満、20～60歳未満、60歳以上の3要素がどういった割合なのかを視覚的に把握することができます。
2. 棒グラフ
値の大小を比較するときに有効なグラフです。例えば、各店舗の売上高を比較したり、物販で種類別の販売数量の大小を確認したりする際に利用します。
3. 折れ線グラフ
時系列での連続的な変化を捉えるときに使います。例えば、月別の売上推移や、気温の変化などです。横軸に時間や年月日などを取ることがほとんどです。